

仲間作り教養コース ④ 国際社会学

第一回

EUの誕生、現状、未来を考える

EU(ヨーロッパ連合)の生い立ち

日時 10月6日(土) 10:00AM~

場所 鶴瀬公民館 第三集会室

講師 堀江 則雄氏

受講生 37名

プロローグ EUはなくなってしまうのか？

イギリス ものは自由に、人は規制しよう
という提案について

関税交渉 米が交渉相手として中、EU、
日、加、韓 貿易の停滞による生産の減少か

国境の閉鎖 シリア内戦以降、100~200
万人の難民が流入、今後の欧州の動向

反EUの動き ナショナリズムを煽るハン
ガリー、ポーランドなど

EUの拡大の流れ アルバニア、マケドニア、
ルーマニアなどの加入の動き



1. ヨーロッパとはどこか

稚内にある「ヨーロッパの見える街」碑文、同様に、かつてウラジオストックにもあった教科書的にはウラル山脈から西、地中海から北、黒海南岸だが、果たしてそうか由来はギリシャ神話から、ローマ帝国の領域、分裂後の東西ローマ帝国、明確ではない

2. EUの前身の歩み（ヨーロッパ統合のスタート）

1952年 欧州石炭鉄鋼共同体（E C S C）発足 2000万人の死者を出した第2次世界大戦からの復興、資源を求めて戦争をする愚をおかさないために

1958年 欧州経済共同体（E E C）の発足

1962年 欧州共同体（E U）発足 6カ国が原加盟国（フランス、ドイツ（西ドイツ）、イタリア、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ）

1986年 E U 12カ国体制

1993年 欧州連合（E U）条約発効（マーストリヒト条約）連合の意味について説明

現在 28カ国体制



3. なぜ生まれたのか

①不戦共同体 2度の世界大戦によって欧州は、取り返しのつかない多くの戦死者、負傷者を生み、大きな惨状をもたらし、2度と戦火を交えないと経済的な共同、人的な交流を図る。

独仏が和解・連携が支柱。歴史認識、共同教科書、相互留学（750万人）背景には戦争被害が比較的になかったアメリカが、13億ドル（現在の10兆円以上）を拠出した

2012年 ノーベル平和賞を受賞 中近東、アフリカに支援

②対ソ連、東欧への結束 戦後の経済復興とソ連型社会主義への対抗が眼目
これによって5億人の巨大市場が誕生、E U市民権を得る。社会民主主義的考え方により、労働法制、人権、環境、社会福祉政策が進む。



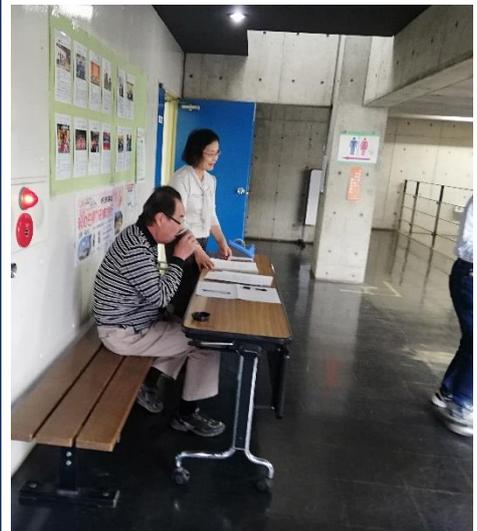
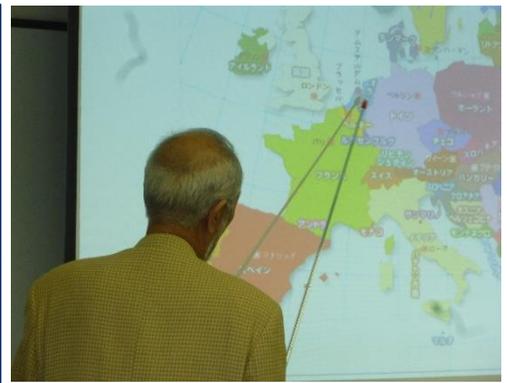
* E Uの3つのPの目標について

P e a c e 平和、安心、和解

P r o s p e r i t y 繁栄（特に金銭的）、成功、

P r o g r e s s 進歩、発展

E Uの生まれてきた背景を考えると、不戦共同体という意味合いで強固な取り組みであり、崩れる事はないだろう。また、東欧へ行った先生の経験から流通通貨として、ドル、ユーロ、元がしっかりと根付いているそうです。



講座レジメ

国際社会学 EU の誕生、現状、未来を考える
第一回 EU (ヨーロッパ連合) の生いたち

2018・10・6 堀江則雄

プロローグ *EU はなくなってしまうのか？

英国の協定なき離脱、各国の移民・難民への国境閉鎖、各国での反 EU 右派勢力の伸長、ハンガリー、ポーランドの“反乱”・・・。

I、ヨーロッパとはどこか。

*「ヨーロッパの見える街」(北海道稚内)

*ウラル山脈から西、黒海南岸・地中海から北とされるが、果たしてそうか？

ローマ帝国の版図、東ローマ帝国の滅亡→ロシア、トルコは？

*ギリシャ神話「エウロペ」から。(ヘロドトス「歴史」)。欧羅巴→欧州

II、EU の前身の歩み (ヨーロッパ統合のスタート)

1952 年 欧州石炭鉄鋼共同体 (ECSC) 設立

1958 年 欧州経済共同体 (EEC) 発足。

1967 年 欧州共同体 (EC) 発足。6 カ国が原加盟国。単一市場、関税同盟、

1986 年 EC12 カ国体制。(デンマーク、アイルランド、英国、ギリシャ、スペイン、ポルトガル加盟) →EU 旗★が 12。

1993 年 欧州連合 (EU) 条約<マーストリヒト条約>発効

III、なぜ生まれたのか①不戦共同体

2 度の世界大戦による欧州の惨状。対立の源となったアルザス・ロレーヌ地方の共同管理による ECSC 創立。仏、独 (西独)、伊、オランダ、ベルギー、ルクセンブルクの 6 各国が参加。独仏和解・連携が支柱。歴史認識、共同教科書、相互留学 (750 万人)。→2012 年ノーベル平和賞受賞

IV、なぜ生まれたのか②対ソ連・東欧への結束

*冷戦で分断されたヨーロッパでソ連に対抗する経済的、政治的結束を図る。戦後の経済復興とソ連型社会主義への対抗が眼目。→人口 5 億人の巨大市場、EU 市民権、社会福祉政策、環境政策。

*EU の 3 つの P: Peace, Prosperity, Progress